

山梨県 清里 三分一湧水

ハヶ岳の懐からこんこんと湧き出る三分一湧水（さんぶいちゆうすい）は、「日本名水百選」に指定された湧水のひとつです。水争いが激しい頃、農業用水を3つの村に均等に分配させるため、湧出口の分水柵に三角石柱を築き、三方向に流水を分岐させたという伝説が残っています。

三分一湧水は、豊かな自然の恵みのシンボルであると共に、古くから村人たちが大切な水を分かち合ってきた、人間の知恵のシンボルでもあります。1日に約8500トンもの豊かな湧出量を保ち、夏でも清涼感を味わえる名所です。

公式サイト

<http://www.alps-hs.co.jp/sanbuichi.html>

【アクセス】

甲斐小泉駅・平山郁夫シルクロード美術館より徒歩約10分

公園内に、信州信濃のおそば屋さんがあるのですが、電車の都合で食べられませんでした。





平山郁夫シルクロード美術館を見学した後、
右手に突き当たりのガソリンスタンドまで
5～6分歩いたところで左手に折れると
こんもりとしたところが見えます。
入口は、坂を100mほど下ったところにあります



入口を入ると東屋が見えます



東屋の下にせせらぎが流れています



上流に10mほどのところに湧水口があります。



湧水口から、三方に水が流れ出しているのかと思っていましたが
今は、一方だけにしか流れ出していませんでした。



湧水から駅に戻る途中、そば畑がありました。
さすが、そば処だけあって、処々にそば畑を見ることができます。
雲をかぶった八ヶ岳
でも、暑さの厳しい日でした。